

ナガエツルノゲイトウ（特定外来生物）の 侵入・拡散を防ぎましょう！！

※農研機構資料引用

農地周辺でナガエツルノゲイトウが見つかったら（具体的な防除・対策例）

☆水田内

- ・水稲用除草剤（初期剤や初中期剤）の体系処理で防除します。とくに給水栓まわりや畔際の防除を徹底します。まん延ほ場では後期剤の使用と水稲刈跡に茎葉処理剤（グリホサートなど）の散布が効果的です（降霜期までに）。
- ・河川など取水源に定着している地区では、**給水栓口にネット等**を取りつけ、かんがい用水経由での侵入を防止します※2。

☆主な特徴



※2 ネット設置例

☆夏～秋に細い柄の先に球状の白い花をつける



☆茎の中心は空洞（ストロー状）



☆畦畔

- ・**刈り払いによって断片が農地に侵入**するおそれがあるので、定着が見られる畦畔では除草剤中心の管理を行います。茎葉処理剤の効果的な散布時期は9月以降～降霜期までの期間です。
- ・農地も畦畔際の防除（茎葉処理剤の秋散布など）に務めます。



再生力
大

※刈り払いによって、小さな断片が拡散し、その場で再生。